



諫早湾干拓地と周辺地域における開門調査の影響

諫早湾干拓調整池やその周辺には様々な生き物が住み、広大なビオトープが形成されています。

昔のような洪水の心配もなく、地域の人々も安心して生活できるようになりました。

ミネラル豊富な諫早湾干拓地ではたくさんの安全・安心な野菜ができています。

しかし、排水門を開門すると、この安定した状況は失われてしまいます。

それでも、開門するのですか？



もっと詳しく知りたい方へ ホームページ

長崎県諫早湾干拓室

長崎県 謳早湾干拓事業

検索

1 開門が引き起こす影響

① 防災機能が十分に発揮できなくなります。

●締切り以降、調整池の水位を標高-1.0mに維持することによって、この地域の人々が長く悩まされていた湛水被害が改善されています。

潮受堤防締切り後、調整池の水位を低く管理し、大雨時において周辺地域からの雨水を一時的に調整池に貯めることにより、湛水被害の解消が図られています。

●また、潮受堤防内側にはガタ土の堆積がなくなり、スムーズな排水が可能となりました。

締切り前は、潮受堤防内側の範囲でもガタ土が堆積して周辺地域からの排水の支障となり、ちょっとした雨でも一帯が水浸しとなっていましたが、締切り後はガタ土の堆積がなくなり、スムーズな排水が可能となりました。また、以前は既設堤防の排水構門前にたまつたガタ土は人力で排除していましたが、締切り後はガタ土の堆積がなくなり、その作業の必要もなくなりました。

排水門の開放は締切り前の状態に戻ることになり、かつてのような湛水被害が発生



② 開門による被害を軽減するための膨大な対策工事が必要です。

項目	内容	費用
海水導入・排水による洗掘対策	洗掘防止のための捨石工等の実施	約422億円
背後地の防災機能の確保	既設堤防補修、排水ポンプの設置等	約202億円
農業用水確保・潜風害対策	防風ネット設置等、(新たな水源の確保は困難)	約5億円
水棲生物の保護その他	調整池の生物保護・放流、侵入防止ブイの設置等	約2億円

(農林水産省試算:常時開門の場合)
このように、開門調査を行うためには、対策工事だけでも膨大な費用(約631億円)がかかります。たとえ対策工事を行ったとしても、干拓地や周辺農地での農業への影響がすべて解消されるわけではありません。

③ 諸早湾干拓地の入植農業者の方々は大きな不安を抱いています。

●入植農業者たちは大規模な設備投資を一世一代の決意をもって実施しています。

今年度末までに約37億円の設備投資が行われる予定です。農地の規模が大きいだけに、設備投資も必然的に大規模になります。

海水導入による塩害などの被害で畑作ができなくなれば、多額の設備投資も絶望的な状況になる。

2 諸早湾干拓事業の概要



目的

防災機能の強化

全長約7kmの潮受堤防および洪水調整の役割を果たす調整池を設け、高潮や洪水に対する防災機能を強化。

優良な農地の造成

地形的に平坦な農地が少ない長崎県において、大規模で平坦な農地を造成。

対象地域 長崎県諸早市、雲仙市

調整池の面積 約2,600ha

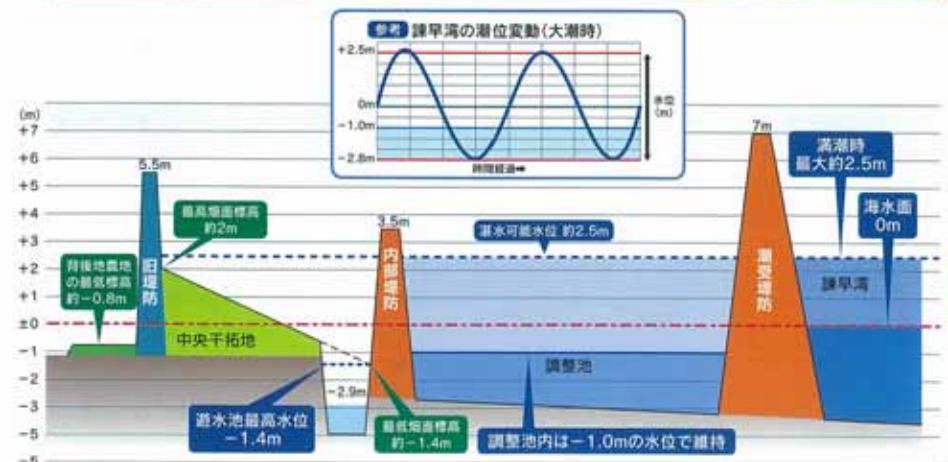
干拓地の農地面積 672ha (中央干拓地 581ha、小江干拓地 91ha)

諸早湾(有明海)と周辺地域の標高

諸早湾は干満の差が大きく、満潮時には潮位が標高約2.5mまで上昇します。一方で、周辺の農地や宅地等は低平であり、潮受堤防締切り前は、大雨時に湛水被害や高潮による塩害がしばしば発生していました。

標高2.5m以下の農地は約2700ha、宅地等は約800戸あり、うち標高0m以下の農地は約600haあります。満潮時に大雨が降った場合、さらに多くの農地や宅地が被災する心配がありました。

潮受堤防による締切り以降、調整池の水位を平均海面より1.0m低く維持することによって、湛水被害を抜本的に改善しています。



新たな干拓地では既に農業が始まっています



また、多様な生物の営みも育まれています。



3 事業の効果

防災効果の発揮

高潮被害の防止

潮受堤防が高潮、波浪を遮断するため、台風時においても、高潮被害が生じることはなくなりました。

洪水被害の軽減（①-③を参照）

調整池の水位を低く管理することにより、大雨時においても標高の低い背後地の雨水はスマーズに調整池に流れ込み、湛水被害はほとんどなくなりました。

排水不良の改善（①-③を参照）

日常の排水についても、調整池の水位を低く管理することで、潮の干満に関係なく、背後地から調整池へ排水することができるようになりました。また、背後地に設置されている排水樋門前のガタ土の堆積がなくなり、維持管理が楽になりました。

大規模な営農の開始

平成20年4月より、新たに完成した諫早湾干拓地では本格的に営農が開始され、ばれいしょ、たまねぎ、レタス、しうがなどが栽培、収穫されています。

諫早湾干拓地の農業者全員がエコファーマー（土づくりや減化学肥料・減農薬などの環境に優しい農業に取り組む農業者）の認証を取得するなど、環境保全型農業（左の全体写真的左上欄を参照）の実践に取組んでいます。

その他の効果

潮受堤防の締切り前は、周辺農地でも塩害の心配があり、稲作以外の作物の栽培が困難であったことから、裏作や転作が進みませんでしたが、締切り後は、塩害の心配がなくなったことや、排水が良くなつたことから、裏作や転作、さらにはハウスなどの面積が拡大しています。



4 安心して野菜の栽培ができなくなります。

- 672haの干拓農地では、本年4月から41経営体が本格的に営農を開始しています。また、約3,500haの背後地の農地は、県下最大の穀倉地帯となっています。
- 塩害がないことを前提に、干拓地の入植者全員が減農薬や無農薬による環境保全型農業の畑作を実施し、周辺農地でもハウス等の野菜づくりが活性化しています。かつては、塩害の心配があり、稲作以外は栽培が難しい状況でしたが、堤防締切り後は塩害の心配が無くなり、稲作が可能となりました。

調整池への海水の導入により、干拓地の営農用水が確保できなくなるとともに、干拓地のみならず背後地の農地でも、地下からの塩分浸透や台風時の潮風害の発生が心配されます。

農業者は安心して畑作営農ができない。



畑作物の塩分に対する強さは、コメの半分以下。

※農業用水に含まれる塩分（塩素イオン濃度）の目安
水稻の農業用水… CL⁻（塩素イオン）濃度500～700mg/l 以下
畑地かんがい水… CL⁻濃度 200mg/l 以下

塩分による生育障害の例

- 農業用水のCL⁻濃度が目安よりも大きくなると……
たまねぎやレタスなどの発芽率の低下などが発生しやすい。
- 土壌中の塩分濃度の上昇によっても塩害は発生……
いちごなどは、土壤中の塩分濃度に敏感なため、塩害が発生しやすい。
- ばれいしょは、塩害に対する抵抗性が弱いとされている

5 調整池やその周辺の自然環境が破壊されます。

- 平成9年の堤防締切り以降、調整池には淡水系の生態系が形成されています。
- 調整池および周辺干陸地で約240種の植物や約300種の昆虫類のほか、多くのほ乳類、両生類、は虫類の生育・生息が確認されています。

海水導入により調整池の生態系を破壊

H14の短期間開門調査時にも多くの魚類や貝類が餓死



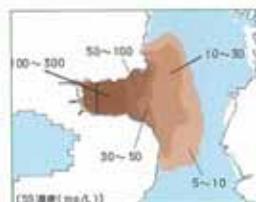
短期間開門調査時の餓死魚回収の状況

6 諫早湾や周辺海域への影響が心配されます。

- 潮汐の変化により、毎日2回、平均6,000万トンの海水が流入・排水されます。
- 排水門周辺でガタ土を巻上げるような早い流れが発生、諫早湾外にまで濁りが拡散します。

調整池内の大量的ガタ土が混ざった水が排水門の外側のガタ土をえぐりながら流出し、諫早湾外にまで広がります。

拡散した結果、ガタ土が諫早湾内の魚介類に壊滅的な影響を与える可能性があります。

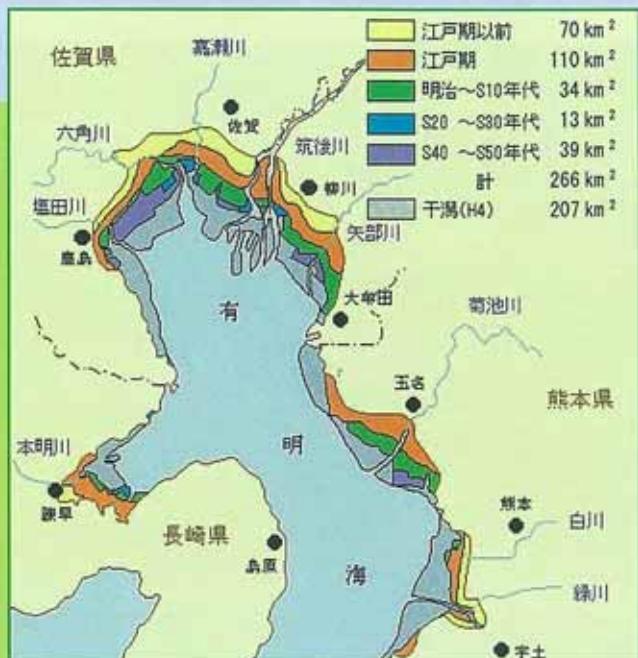


排水門の常時開放によりガタ土が有田灘に広がる様子（開門30日後）

出典：九州農政局ホームページ

干潟の成長と干拓

有明海は約1,700km²の広大な浅い海であり、干潮時には海岸線から5~7kmの沖合にまで干潟が現れます。有明海に干潟ができるのは、土砂や有機物を運ぶ河川があることや地形などの条件が満たされているためと言われており、干潟の成長は多いところでは1年に5cmも堆積します。干潟の成長によって、干潟の奥にある陸地からの排水が困難となります。このような状況を改善すること、新たに農地をつくるために、有明海では江戸時代以前から干潟の干拓が続けられ、これまでに260km²を超える面積(釧路湿原の約1.5倍)の干拓が行われました。



有明海の干拓の歴史

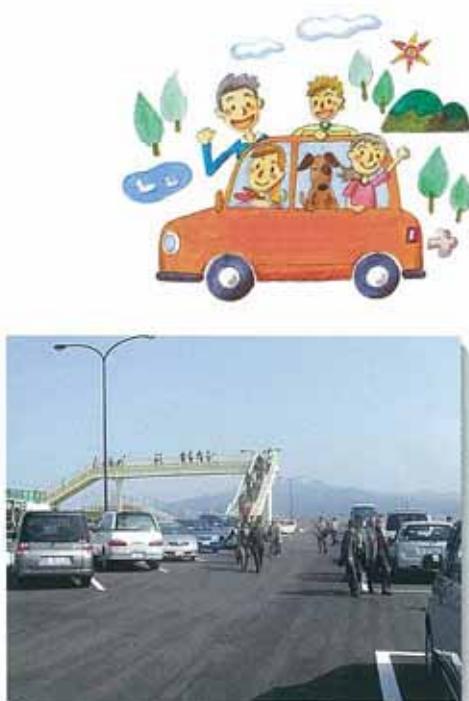


【潮受堤防道路】

諫早市と雲仙市を結び、佐賀～島原方面の時間短縮と交流促進に寄与しています。

上写真(左:諫早湾、中:潮受堤防道路、右:調整池)

右写真(潮受堤防中央部の歩道橋と駐車場)



お問合せ先: **長崎県農林部諫早湾干拓室**

〒850-8570 長崎県長崎市江戸町2番13号
TEL.095-895-2051 FAX.0957-27-0030
E-mail:s07050@pref.nagasaki.lg.jp

もっと詳しく知りたい方へ ホームページ

長崎県 諫早湾干拓事業

発行:平成20年11月